

『ここがpoint！ 漢方で広がるがん患者支援』

自治医科大学附属さいたま医療センター
薬剤部 坂本 亮



論文未発表のデータおよび学会発表データが一部含まれています。また、国内未承認・適応外の情報を含みますが、適応外使用を推奨するものではありません。

各薬剤の「効能・効果」、「用法・用量」につきましては、最新の添付文書をご確認ください。

利益相反（COI）開示

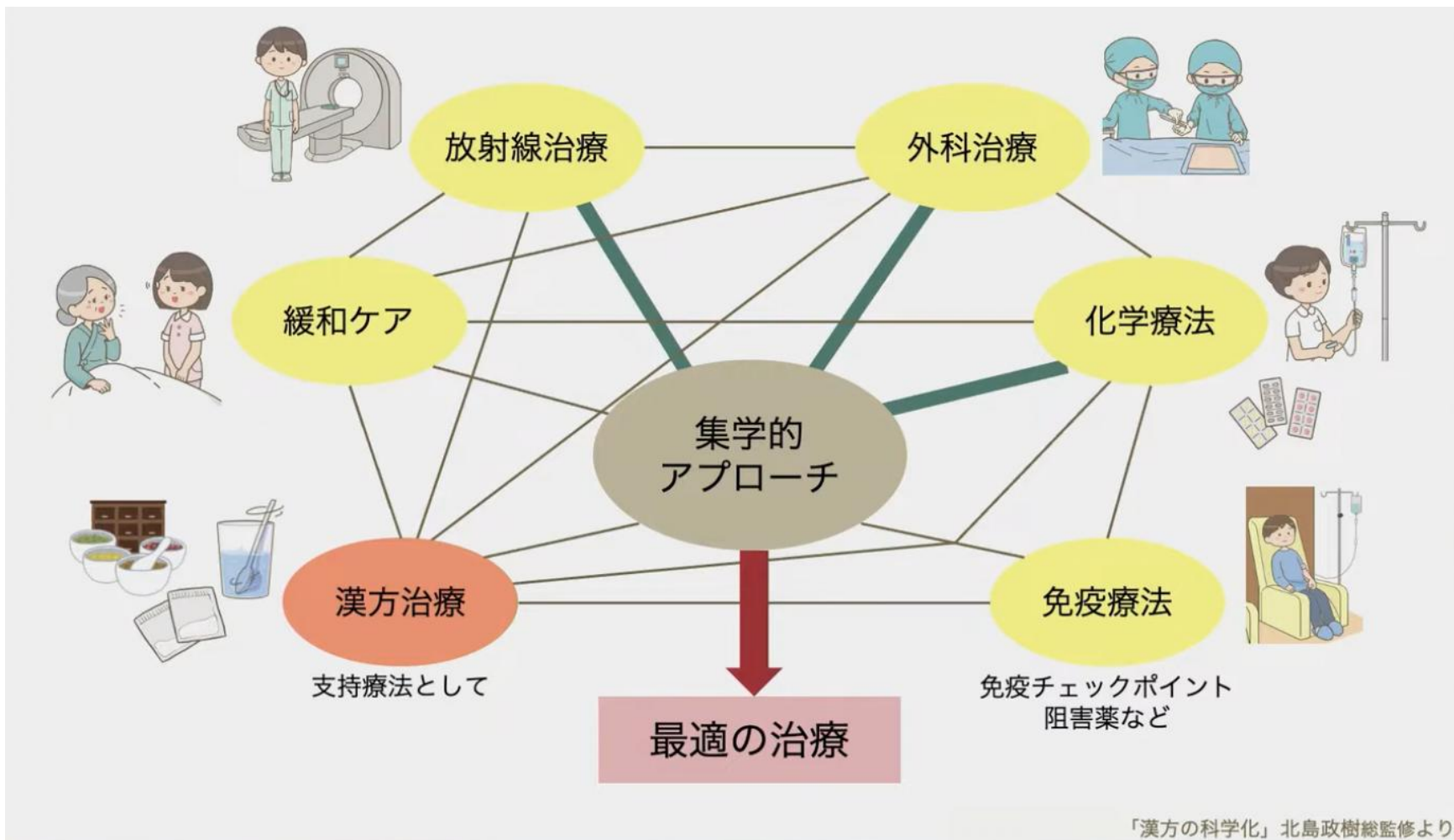
本発表に関連し、開示すべき利益相反（COI）はありません。

発表者： 坂本 亮

本日の内容

- ・ がん治療における漢方薬の立ち位置（背景やRCTを中心に）
- ・ 漢方薬の実際の使用法
 - ★ 六君子湯、補中益気湯、十全大補湯、半夏瀉心湯、牛車腎気丸、芍薬甘草湯

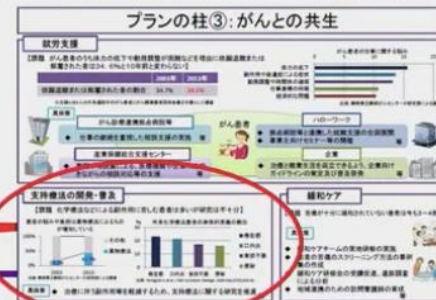
がんは今や集学的治療が主体です!



「支持・緩和療法」分野

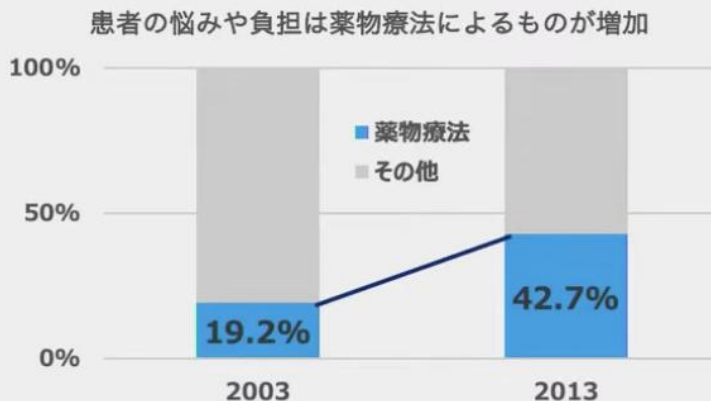
厚労省が「支持療法」に関する研究の推進を明言

厚労省がん対策加速化プラン（平成27年12月）

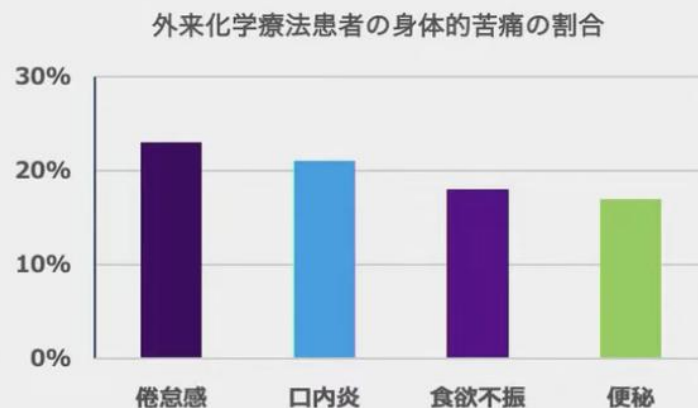


支持療法の開発・普及

【課題】 化学療法などによる副作用に苦しむ患者は多いが研究は不十分



出典：静岡県立がんセンターの研究班による調査



出典：Yamagishi A et al.: J Pain Symptom Manage. 2009 may;37(5):823-30.

【具体策】 治療に伴う副作用等を軽減するため、支持療法に関する研究を推進等

漢方薬が得意な疾患と主な役割

西洋医学

感染症
外科手術
心疾患
糖尿病
ウイルス性肝炎
人工透析 など

漢方医学

女性疾患
消化管症状
（便秘、食欲不振など）
感冒
口内炎
倦怠感
冷え性
こむらがえり など

漢方の主な役割

- 不定愁訴に対応
- 西洋医学の補完・代替医療（抗がん剤の補完療法など）
- 慢性疾患、高齢疾患などの薬剤数・量の削減

RCT126報

漢方処方	癌腫	目的 / 症状	結果	試験名	主要論文(著者、年、論文名)
六君子湯	食道癌	化学療法による食欲不振	改善	—	Hamai Y, 2019, Rikkunshito for chemotherapy-induced anorexia in esophageal cancer
半夏瀉心湯	大腸癌	化学療法口内炎	改善	—	Matsuda C, 2015, Hangeshashinto for mucositis in colorectal cancer
半夏瀉心湯	大腸癌	イリノテカン下痢	改善	—	Yamazaki K, 2019, Hangeshashinto for irinotecan diarrhea
牛車腎気丸	大腸癌	オキサリプラチン神経障害	有効 (Phase II)	GONE trial	Kono T, 2013, Goshajinkigan for oxaliplatin-induced neuropathy
牛車腎気丸	大腸癌	神経障害予防	有意差なし	GENIUS trial	Oki E, 2015, Phase III trial of Goshajinkigan
大建中湯	大腸癌	術後イレウス	改善	—	Katsuno H, 2015, Daikenchuto after colon surgery
十全大補湯	膀胱癌	ワクチン療法QOL	改善	—	Yutani S, 2013, Juzentaihoto with cancer vaccine
補中益気湯	全癌種	癌関連倦怠感	改善	—	Jeong JS, 2010, Hochuekkito for cancer fatigue
芍薬甘草湯	肺癌	化学療法筋肉痛	改善	—	Yoshida T, 2009, Shakuyakukanzoto for taxane-induced myalgia

がん領域の漢方薬主要RCTまとめ

漢方薬	対象症状	主ながん種	RCT規模	主な結果
大建中湯	術後腸管麻痺・ 腸蠕動低下	胃癌・ 大腸癌術後	200～300例	排ガス・排便までの時間短縮
六君子湯	食欲不振・悪液質	胃癌・ 肺癌など	30～200例	食欲スコア改善、一部体重維持
牛車腎気丸	末梢神経障害 (CIPN)	大腸癌 (FOLFOX)	80～200例	第III相で主要評価未達
半夏瀉心湯	口内炎	頭頸部癌	40～90例	Grade3以上口内炎減少報告
半夏瀉心湯	下痢(CPT-11)	大腸癌	約50例	下痢頻度低下傾向
補中益気湯	倦怠感	消化器癌など	約40例	QOL改善傾向
芍薬甘草湯	筋痙攣・筋肉痛	大腸癌など	40～60例	筋痙攣頻度・疼痛スコア改善
人参養栄湯	がん悪液質	肺癌など	30～50例	体重減少抑制傾向
抑肝散	せん妄	進行がん	20～50例	改善傾向(小規模)
十全大補湯	免疫低下・全身倦怠	胃癌・ 肝癌など	40～80例	NK活性など免疫指標改善

がん支持療法でのエビデンス強度ランキング

順位	漢方処方	主な適応	エビデンス
1	大建中湯	術後イレウス・腸管運動	★★★★★
2	六君子湯	化学療法食欲不振・悪心	★★★★★
3	半夏瀉心湯	化学療法口内炎・下痢	★★★★★
4	牛車腎気丸	オキサリプラチン神経障害	★★★
5	十全大補湯	QOL・免疫	★★★
6	補中益気湯	癌関連倦怠感	★★
7	越婢加朮湯	手足症候群	★★
8	芍薬甘草湯	タキサン筋肉痛	★★
9	人参養栄湯	化学療法副作用	★★
10	抑肝散	不安・睡眠	★

＜がん支持療法における漢方薬の主要RCT
(Support Care Cancer 2012, Ann Surg Oncol 2013,他)を基に作成＞

がん領域で頻用される漢方薬

症状	漢方薬
嘔気・嘔吐、食欲不振	六君子湯 43
体力低下・倦怠感	補中益気湯 41
	十全大補湯 48
口内炎、下痢	半夏瀉心湯 14
手足の痛み・しびれ	牛車腎気丸 107
	芍薬甘草湯 68
術後せん妄	抑肝散 54
腹痛・腹部膨満感	大建中湯 100

漢方薬の使用法

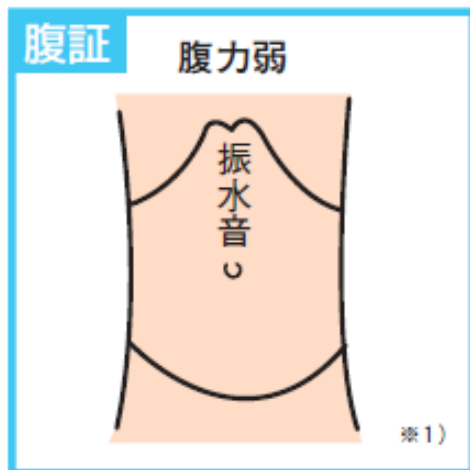
- ・六君子湯
- ・補中益気湯
- ・十全大補湯
- ・半夏瀉心湯
- ・牛車腎気丸
- ・芍薬甘草湯

監修：佐藤 弘・木村 容子(東京女子医科大学附属東洋医学研究所)

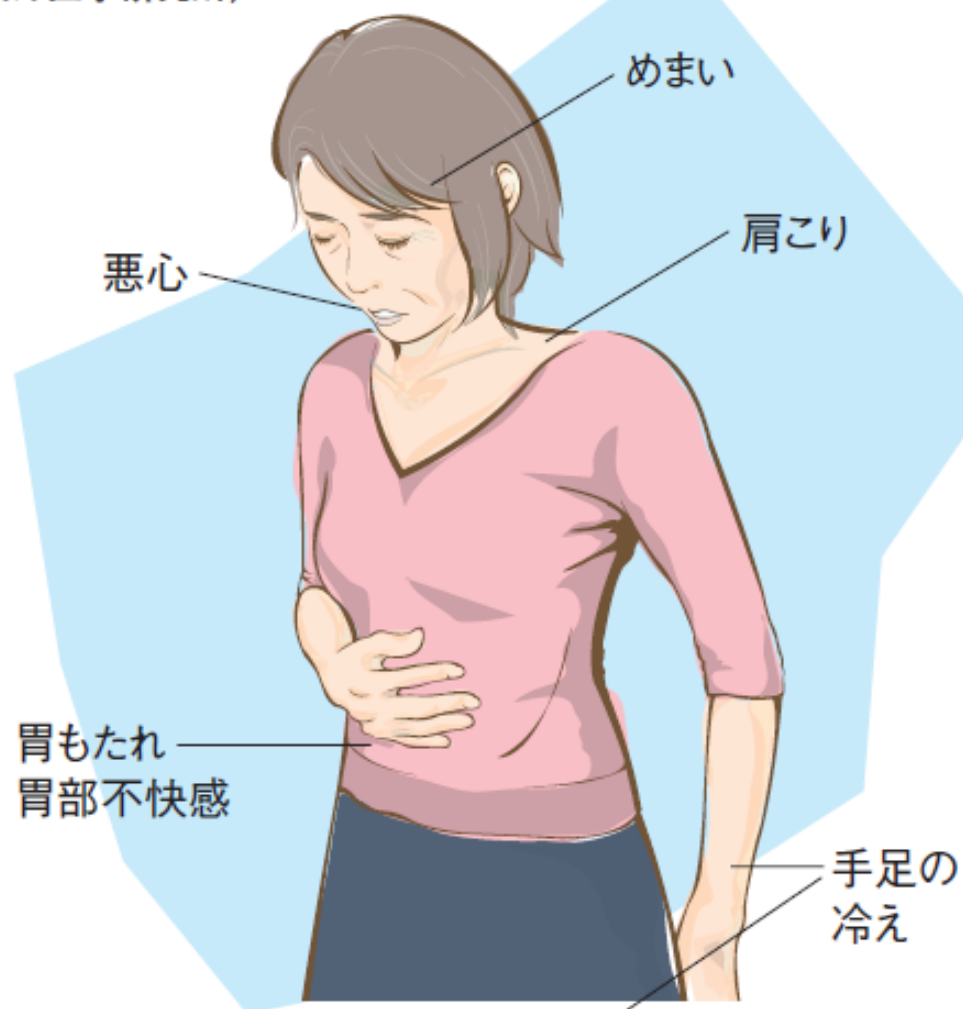
りっ くん し とう

六君子湯

蒼朮、人參、半夏、茯苓、大棗、陳皮、
甘草、生姜



- 食欲不振
- 全身倦怠感



六君子湯は、胃粘膜防御作用や胃排出能促進作用を持つ”漢方の胃薬”として上部消化管症状によく使われる処方です。最近の研究では、内視鏡検査前の上腹部不快感に対してH2blocker やプロトンポンプ阻害剤(PPI)と同等の効果を示し、さらに胃食道逆流症(GERD)、内視鏡陰性GERD(NERD)でもPPI 併用によって患者のQOL を改善する可能性が示唆されています。また、成長ホルモン分泌ペプチドであるグレリン濃度の増加を介する食欲亢進作用も報告されています。

使用目標(証)

比較的体力が低下し、胃腸が弱く、**食欲がなく**、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいもの。

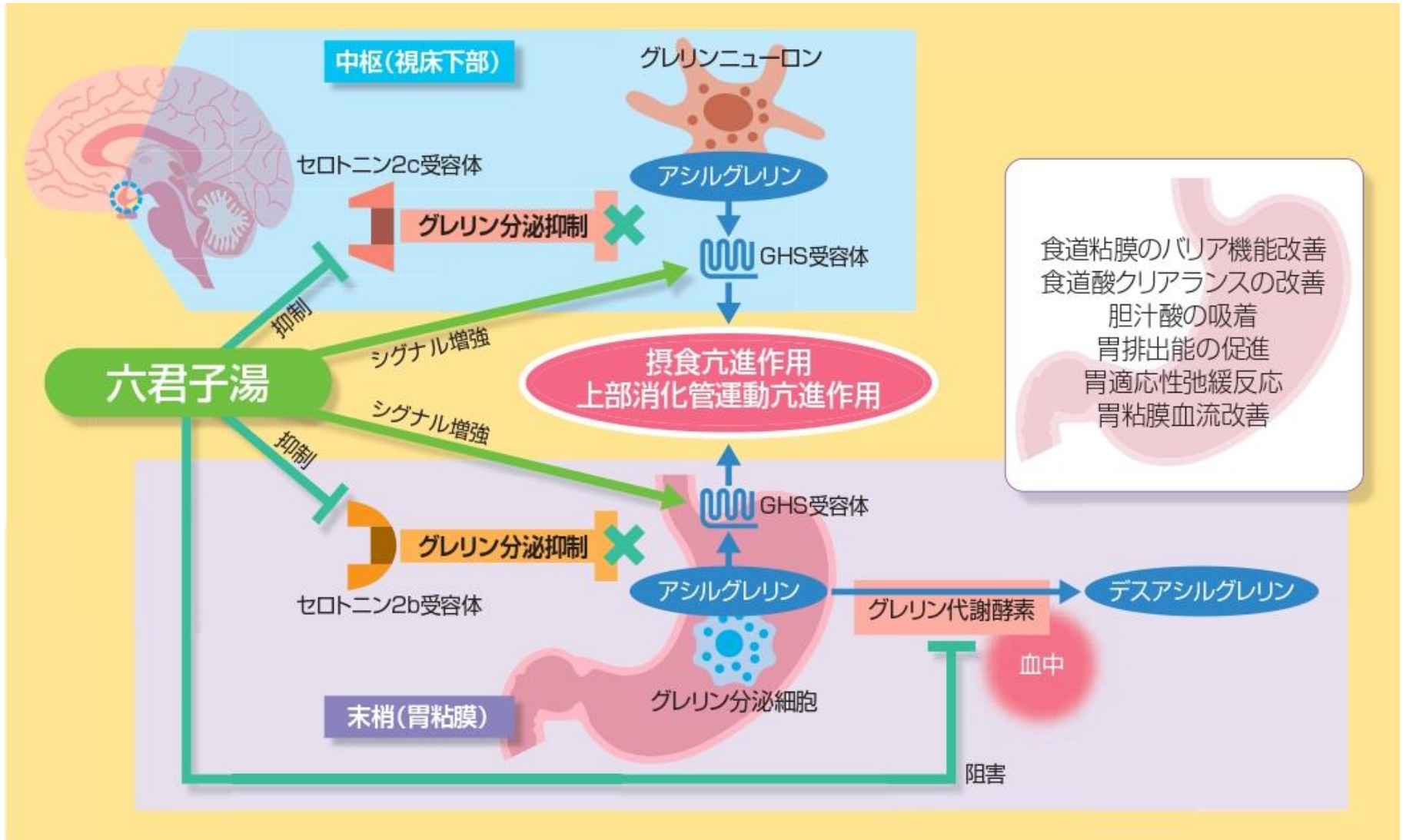
応用疾患・症状

化学療法(CDDP)による悪心嘔吐、食欲不振の改善
胃食道逆流症(GERD)、
上部消化管機能異常(FD)、胃アトニー、胃下垂

ポイント

胃貯留能改善作用、胃排出能改善作用、
胃粘膜防御作用、**グレリンの分泌改善作用**

六君子湯の作用機序



■ 六君子湯(食欲不振・悪液質)

① Yamaguchi T, et al. Support Care Cancer. 2012

- ・対象: 進行胃癌 化学療法患者
- ・デザイン: ランダム化比較試験
- ・症例数: n=60
- ・主要評価項目: 食欲VASスコア
- ・結果: 有意改善 ($p < 0.05$)
- ・副次評価: 血漿アシルグレリン上昇 ($p < 0.05$)

② Takiguchi S, et al. Ann Surg Oncol. 2013

- ・対象: 胃癌術後補助化学療法患者
- ・症例数: n=73
- ・主要評価項目: 経口摂取量
- ・結果: 改善傾向 (有意差一部項目のみ)

ここがpoint！

- 六君子湯はグレリン分泌促進を介して化学療法誘発食欲不振を改善する可能性が示唆されている
- 通常の制吐剤にプラス α として加える

監修：佐藤 弘・木村 容子(東京女子医科大学附属東洋医学研究所)

ほ ちゅう えっ き とう

補中益気湯

黄耆,蒼朮,人参,当帰,柴胡,
大棗,陳皮,甘草,升麻,生姜

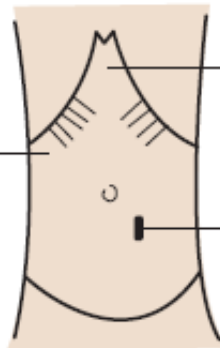
腹証¹⁾

腹力弱

時に振水音

腹部大動脈拍動

軽度の抵抗・圧痛



- 全身倦怠感
- 食欲不振
- ねあせ
- 日中の眠気

言葉や目に
力がない

咳嗽

微熱

口の中に白沫

補中益気湯は別名を「医王湯」といい、疲労・倦怠感が激しいときに用いられる代表的な処方です。補中益気湯という処方名には、中(胃腸の働き)を補い気(元気)を益す(増強する)という意味があります。補中益気湯は、中国の金元時代に活躍した医師・李東垣が生み出した方剤です。東垣自身、脾胃(消化器)が弱かったこと、戦争で多くの人々が脾胃の損傷で亡くなるのを目撃したことから、脾胃が体内で重要な役割を担っていると考えたのです。

使用目標(証)

体力が低下したもので、全身倦怠感があり、言葉や目に力がなく、口中に白沫が出て、寝汗や日中の眠気を訴えるもの。

応用疾患・症状

がん治療における倦怠感改善。慢性疾患、術後、病後、産後などの衰弱している状態に広く使われる。COPD、アトピー性皮膚炎、夏バテ、食欲不振

ポイント

消化吸収機能を良くして気力・体力を回復させる。
免疫系機能の調整作用(NK活性賦活作用)

① Jeong JS, et al. J Altern Complement Med. 2010

- ・対象：各種進行癌患者（癌関連倦怠感）
- ・デザイン：ランダム化比較試験
- ・症例数：n=40
- ・主要評価項目：癌関連倦怠感スコア（Fatigue score）
- ・結果：補中益気湯群で倦怠感スコアが有意に改善（ $p < 0.05$ ）
- ・副次評価：QOLスコア、体力指標の改善

② Mori K, et al. Am J Chin Med. 1992

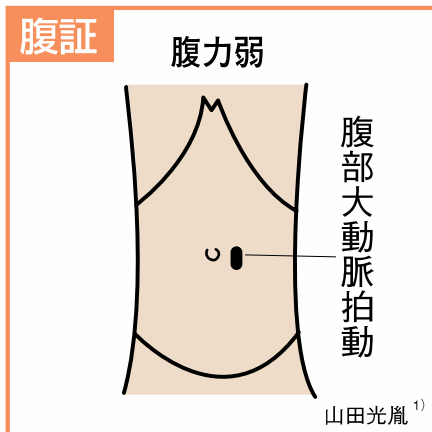
- ・対象：進行癌患者（癌関連倦怠感）
- ・デザイン：ランダム化比較試験
- ・症例数：n=36
- ・主要評価項目：倦怠感症状スコア
- ・結果：補中益気湯群で倦怠感の改善を認めた
- ・副次評価：食欲、全身状態（performance status）

監修：佐藤 弘・木村 容子(東京女子医科大学東洋医学研究所)

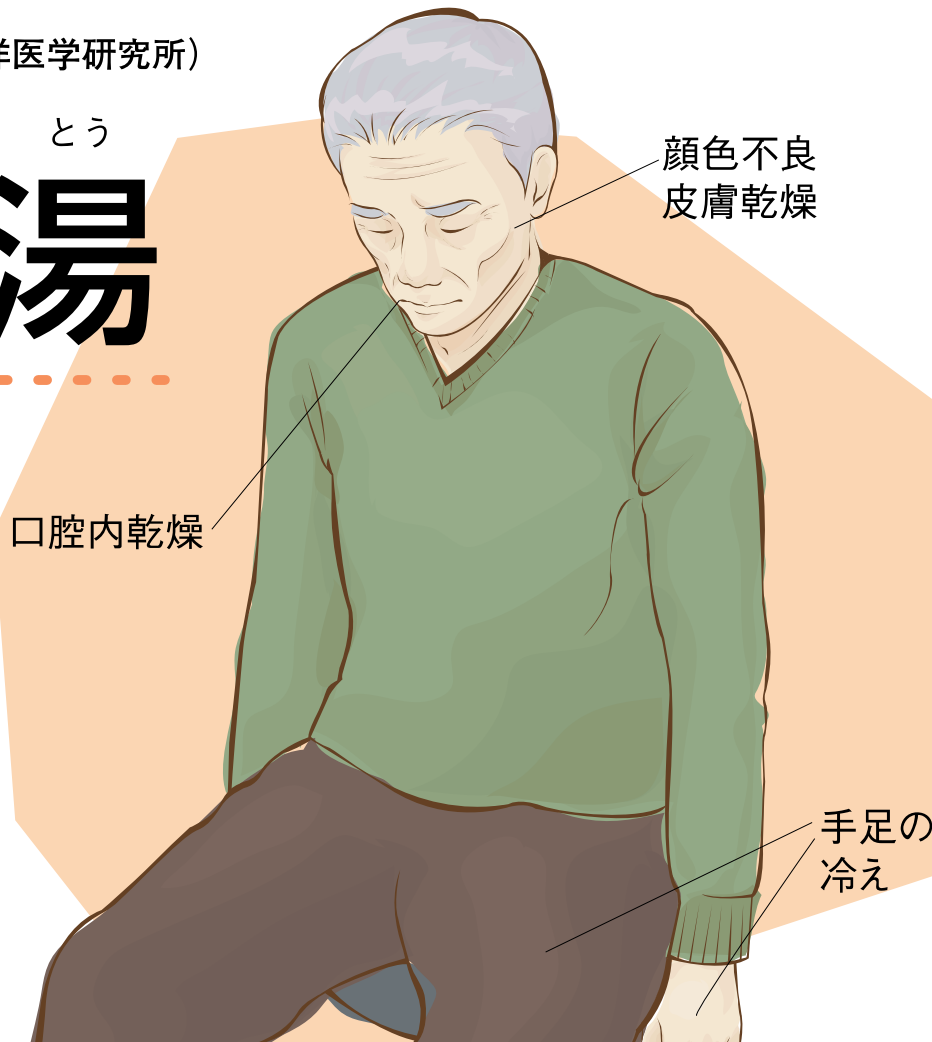
じゅう ぜん たい ほ とう

十全大補湯

黄耆，桂皮，地黄，芍薬，川芎，蒼朮，
当帰，人参，茯苓，甘草



- 虚弱
- 貧血
- 全身倦怠感
- 食欲不振



十全大補湯は、その名の通り、10種類の生薬が組み合わさってできた処方です。中国宋時代に編纂された『太平惠民和剂局方』諸病門に収載されています。漢方薬の四物湯と四君子湯に生薬の黄耆と桂皮を加えたもので、「気血の虚を補い十全(完全)の効がある」という意味があります。大病後，術後，産後や慢性疾患などで衰弱した人の回復促進によく使われる薬です。最近では，がん治療の現場で，放射線治療や抗がん剤の副作用の軽減，患者さんのQOL向上など，補助療法としても使われています。

使用目標(証)

疲労倦怠感が著しく、顔色不良、皮膚の乾燥、寝汗、口腔内乾燥、貧血、微熱などの症状を訴えるもの。

応用疾患・症状

がん化学療法・放射線療法時の副作用軽減、痔瘻、慢性化膿性皮膚疾患、褥瘡

各種疾患・術後の体力低下、貧血の補助療法

ポイント

- ・気虚(四君子湯)と血虚(四物湯)を改善させる
- ・黄耆＋桂枝＋当帰で肉芽の増殖を促進
- ・マクロファージやNK細胞の活性化

① Nagatomo H, et al. 1992

- ・対象: 肝細胞癌 TACE後患者
- ・デザイン: ランダム化比較試験
- ・症例数: n=40
- ・主要評価項目: QOL(食欲・全身状態)
- ・結果: 十全大補湯群で QOL改善
- ・副次評価: 体重、免疫指標改善

② Yutani S, et al. Hum Vaccin Immunother. 2013

- ・対象: 進行膵癌 ペプチドワクチン療法患者
- ・デザイン: ランダム化比較試験
- ・症例数: n=48
- ・主要評価項目: 免疫応答(CTL反応)
- ・結果: 十全大補湯併用群で 免疫応答増強
- ・副次評価: QOL改善、生存期間延長傾向

ここがpoint! 補液剤の効能比較

六君子湯

胃腸の弱いもので食欲なく、みぞおちが痞え、疲れやすく、貧血症で手足が冷えやすいもの

胃炎、胃痛、胃下垂、食欲不振、嘔吐、消化不良



消化器症状の
第一選択薬

補中益気湯

元気がなく胃腸の働きが衰えて疲れやすいもの

虚弱体質、疲労倦怠、病後の衰弱、寝汗、食欲不振



食欲不振
倦怠感

十全大補湯・人参養栄湯

病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血

十全大補湯



全身衰弱
貧血、冷え

人参養栄湯



十全大補湯
+不安・咳嗽

はんげしゃしんとう

半夏瀉心湯

半夏、黄芩、乾姜、甘草、大棗、人参、黄連

胸やけ

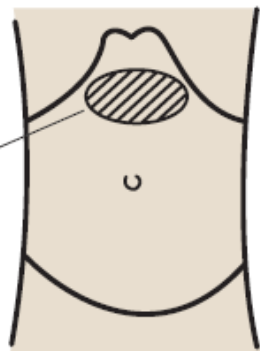
口内炎

悪心・嘔吐

腹証

腹力中等度

心窩部の膨満感と抵抗・圧痛（心下痞鞭）



- 口内炎
- 不眠
- 腹中雷鳴

腹鳴

下痢

半夏瀉心湯は、中国・後漢時代の「傷寒論」「金匱要略」に収載された処方です。主薬である「半夏」は、サトイモ科カラスビシャクの根茎で、花が夏の半ばに開くことからその名が付けられたといわれています。一方、「瀉心」とは、心窩部のみぞおち付近の痞えを除くという意味です。半夏瀉心湯は、急性・慢性胃炎や過敏性腸症候群などの胃腸疾患によく使われるほか、口内炎や精神神経症状にも効果があります。

使用目標(証)

体力中等度の人々の**心窩部の膨満感、抵抗、圧痛**を目標にする。食欲不振、悪心嘔吐、胸やけ、下痢、不安・不眠などの症状を訴えるもの。

応用疾患・症状

下痢、口内炎、吃逆、感染性胃腸炎
胃炎、胃酸過多、過敏性腸症候群

ポイント

- ・黄連、黄芩で**消炎**、鎮痛、解熱、鎮静作用
- ・半夏、乾姜で悪心嘔吐を鎮める
- ・乾姜、甘草でお腹を温め、**腹鳴や下痢を治す**
- ・人参で上腹部の**痞え、痛みをとる**

■ 半夏瀉心湯(口内炎、下痢)

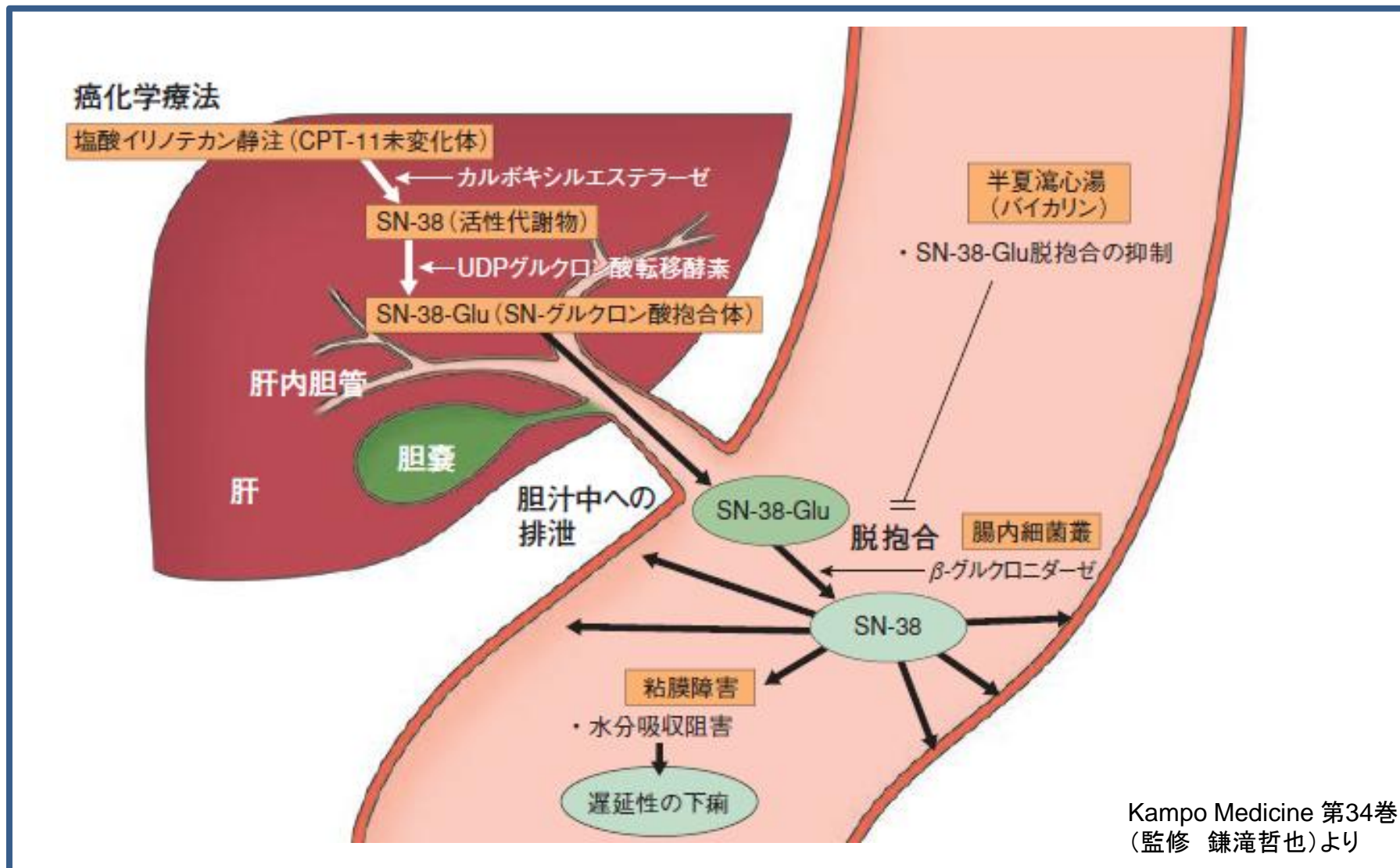
① Matsuda C, et al. Support Care Cancer. 2015

- 対象: 頭頸部癌 放射線療法
- 症例数: n=91
- 主要評価項目: Grade3以上口内炎発生率
- 結果: 有意減少 ($p < 0.05$)

② Shimada M, et al. Jpn J Clin Oncol. 2009

- 対象: 大腸癌 CPT-11投与患者
- 症例数: n=50
- 主要評価項目: Grade3以上下痢
- 結果: 発生率低下傾向(有意差境界)

イリノテカンによる遅延性の下痢と 半夏瀉心湯のメカニズム

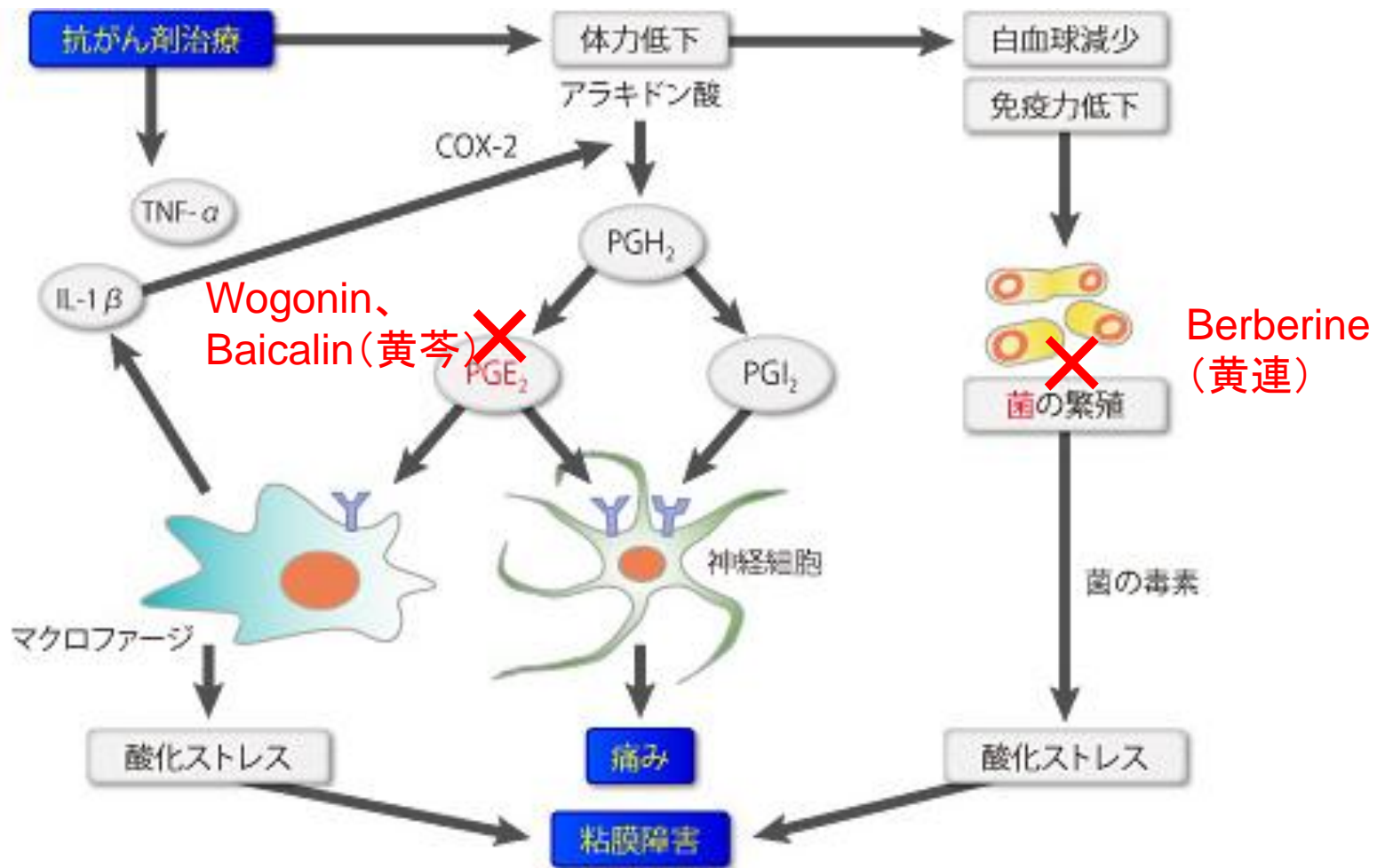


イリノテカンによる下痢予防の処方例

Rp01	ツムラ 半夏瀉心湯	3 包
	分3 (朝、昼、夕)食前	
Rp02	炭酸水素ナトリウム	3 g
	分3 (朝、昼、夕)食後	
Rp03	ウルソ錠 100 mg	3 錠
	分3 (朝、昼、夕)食後	
Rp04	マグラックス錠 330 mg	6 錠
	分3 (朝、昼、夕)食後	

Rp01は、イリノテカン投与3日前から服用。
Rp02～04は、投与前日から連日4日服用。
炭酸水素Naは、腸管内をアルカリ化。
ウルソは胆汁のアルカリ化。
マグラックスは、便秘対策。

抗癌剤による口内炎の発症と 半夏瀉心湯の作用機序



半夏瀉心湯 局所塗布療法

半夏瀉心湯エキスを水道水で溶解して、全量を50mLとした含嗽液を、1日3回毎食後に10秒間含嗽したあとに吐き出す



吐き出す

口腔粘膜に潰瘍病変がある場合には、綿棒にて直接患部に塗布

ここがpoint！

- 化学療法による下痢や口内炎などの粘膜障害には半夏瀉心湯が効く可能性が高い
- エビデンスレベルが高い
- 予防より治療で使われることが多い

監修：佐藤 弘・木村 容子(東京女子医科大学附属東洋医学研究所)

ご しゃ じん き がん

牛車腎気丸

地黄，牛膝，山茱萸，山藥，車前子，沢瀉，茯苓，牡丹皮，桂皮，附子



- 疲労倦怠感
- 尿量減少
- 排尿困難

腰痛
下肢の脱力感
冷え
むくみ傾向

耳鳴
皮膚の乾燥
かゆみ

老人の
かすみ目

口渇

四肢の
しびれ

牛車腎気丸は中国宋時代の嚴用和によって1253年に編纂された『濟生方』水腫門に記載された処方です。八味地黄丸に生薬の牛膝、車前子を加えたもので、八味地黄丸を別名「腎気丸」ということから、牛膝、車前子から1文字ずつ取ってこの名が付けられました。「加味腎気丸」ともいわれます。加味した牛膝、車前子はともに利尿作用をもち、高齢者の頻尿やむくみに適した処方としてよく使われています。

■ 牛車腎気丸(化学療法誘発末梢神経障害)

① Kono T, et al. J Clin Oncol. 2013

(GONE trial)

- ・対象:大腸癌 Oxaliplatin併用化学療法患者
- ・デザイン:ランダム化比較試験
- ・症例数:n=89
- ・主要評価項目:Grade2以上末梢神経障害発生率
- ・結果:牛車腎気丸群で神経障害発生率が低下(有意差あり)

② Oki E, et al. J Clin Oncol. 2015

(GENIUS trial)

- ・対象:大腸癌 Oxaliplatin併用化学療法患者
- ・デザイン:多施設ランダム化二重盲検プラセボ対照試験
- ・症例数:n=182
- ・主要評価項目:Grade2以上末梢神経障害発生率
- ・結果:牛車腎気丸群とプラセボ群で有意差なし

使用目標(証)

比較的体力が低下した人、主に高齢者の疲労倦怠感、口渇、腰や下肢の冷え、脱力感、陰萎、しびれ耳鳴。なかでも浮腫、腰・下肢痛、排尿異常(尿量減少、夜間頻尿)が顕著なものに用いる。**胃腸が弱い人には使用できない**

応用疾患・症状

化学療法による末梢神経障害、前立腺肥大症、慢性前立腺炎、排尿障害、坐骨神経痛、白内障、耳鳴、老人性皮膚瘙癢症

ポイント

効果増強のためにブシ末を加えることがある

附子



<起源>

キンポウゲ科のハナトリカブト

Aconitum carmichaeli DEBX.または、同属植物.
塊根を乾燥したもので、母根が烏頭、子根が附子

<解説>

余剰の水を除き、**痛みを止め**、衰えた新陳代謝を
賦活して**体を温める**働きがある。

附子は体を温める作用に優れ、烏頭は痛みを
止める力が強い。



牛車腎気丸に附子を足す処方が多い

附子を含む漢方薬

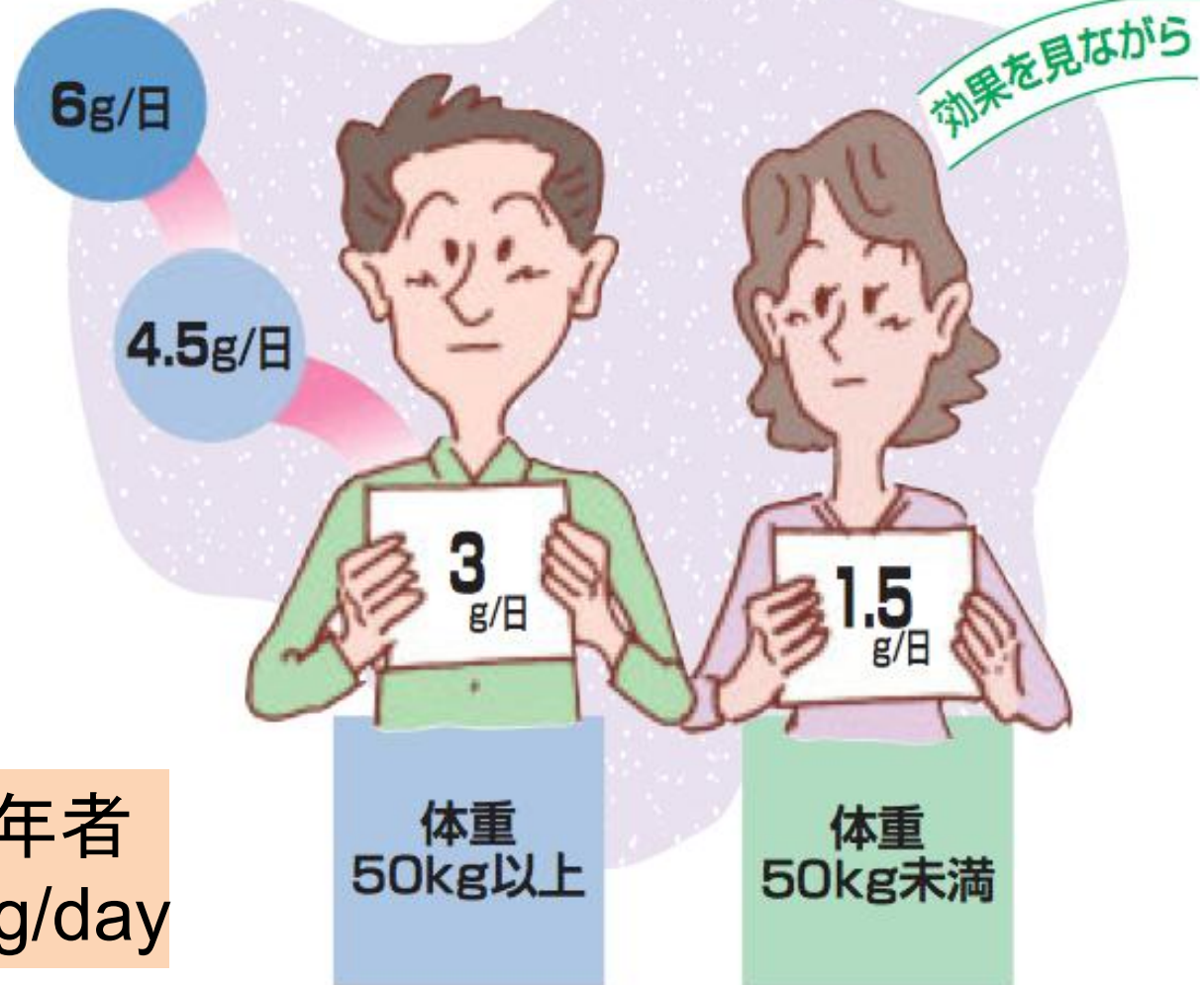
漢方名	1日常用量に対する附子含有量
牛車腎気丸 大防風湯 麻黄附子細辛湯	1.0 g
桂枝加朮附湯 真武湯 八味地黄丸	0.5 g

ブシ末の標準的な服用量

初期投与量
0.5 ~ 1.0g/日

福田佳弘先生より

小児・若年者
0.05 g/kg/day



ブシの副作用に注意

- 動悸
- 頻脈、脈の乱れ
- めまい、立ちくらみ
- 胸が苦しい
- 悪心・嘔吐
- 不眠、イライラ
- 多量の発汗
- 舌のしびれ
- 熱感

ここがpoint！

- RCTでは真逆の結果が出てるが、試してみる価値は大いにあり。
- 目標は控えめに設定する
- ブシを増量することで効果が出ることもある
- 地黄で胃がもたれる場合は、桂枝加朮附湯への変更を検討する

監修：佐藤 弘・木村 容子(東京女子医科大学東洋医学研究所)

しゃく やく かん ぞう とう

芍薬甘草湯

芍薬，甘草

●腹直筋の異常緊張



芍薬甘草湯は、中国の後漢時代に編纂された『傷寒論』に記載された処方です。「芍薬」と「甘草」の2種類の生薬から作られたシンプルな処方ですが、別名「去杖湯」ともいわれ、服用すると杖をついていた人の杖が要らなくなるほど短時間で効くとされています。ふくらはぎが痙攣する「こむらがり」(腓腹筋痙攣)の薬としてよく使われますが、急性胃炎、尿路結石、胆石、腰痛や坐骨神経痛のほか、スポーツや睡眠中の足の攣りなど、急激に起こる痙攣性の疼痛に用いられます。

使用目標(証)

筋肉(骨格筋および平滑筋)の急激な痙攣および痙攣性疼痛を目標に、体力・体質にかかわらず広く用いられる。

応用疾患・症状

化学療法による筋肉痛、吃逆、血液透析などに伴う有痛性筋痙攣(こむら返りなど)
急性胃炎、尿路結石、胆石、腰痛、坐骨神経痛

ポイント

即効性が期待できる

治療上必要最小限の期間の投与にとどめること

①Yoshida T, et al. 2009

- ・対象:肺癌 タキサン系化学療法患者
- ・デザイン:ランダム化比較試験
- ・症例数:n=38
- ・主要評価項目:筋痙攣頻度
- ・結果:芍薬甘草湯群で筋痙攣有意減少
- ・副次評価:疼痛、睡眠

②Kamoshida S, et al. Eurasian J Med. 2021

- ・対象:肺癌 化学療法後しゃっくり患者
- ・デザイン:後ろ向き観察研究
- ・症例数:n=15(49化学療法コース)
- ・主要評価項目:しゃっくり消失率
- ・結果:93.9%でしゃっくり改善
- ・副次評価:副作用なし

ここがpoint！

- RCTでは、タキサン系に有効だが、プラチナ系や他の化学療法による筋肉痛や痺れにも有効なことが多い印象がある
- 吃逆にも試してみる価値あり
(一般に吃逆に使用する漢方薬は柿蒂湯や呉茱萸湯)

本日のまとめ

- 漢方薬は「抗腫瘍薬」ではなく、支持療法としての役割が中心
- 多くがRCTで検証された日本発の支持療法である
- 抗がん剤治療の治療継続率やQOLに少なからず寄与している

謝辞

ご清聴ありがとうございました。

<参考文献>

- ・ ツムラ Kampo Square (MEDICAL SITE)
- ・ 症例から学ぶ 和漢診療学 寺澤捷年 著
- ・ 漢方治療44の鉄則 坂東正造 著
- ・ がん漢方 北島政樹 著
- ・ 図解 漢方処方方のトリセツ 川添和義 著
- ・ 漢方薬・生薬認定薬剤師講座テキスト(日本薬剤師研修センター)
- ・ 漢方医薬学雑誌(臨床情報センター)
- ・ 漢方医学(臨床情報センター)